



ひまわり通信

蠟梅(ロウバイ)の香りにまだ浅き春を感じます

特定非営利活動法人
「NPO千の風」

ひまわり栗生発行 NO105

2024年2月

寒中みなさま おかわり ごさいませんでしょか

1月元旦の日に能登半島地震が発生してすでに1ヶ月。あっという間に2月です。まさに龍が天に翔け昇っていくようです。



「被災地のことを思うと、ひまわりで楽しい時を過ごせる幸せをしみじみと思い感謝しています」

今年の干支の「龍」の書とともに利用者さんからご挨拶をいただきました。ちなみにこの書は孫娘さんが小学校の時に書いたものだそうです。

能登半島地域で被災した方々に 毛糸の靴下カバーを届けました



みんなでワイワイガヤガヤ毛糸を持ち寄り靴下カバーをつくっています。

水曜日の毛糸編班の利用者さんが年明け初めての1/10に「被災地に靴下カバーを、みんなでつくって送らない？」との提案に1週間後の17日には、みんなが持ち寄ってその日のうちに社協のボランティアセンターに届けてくださいました。

毛糸のだんごりから、ラッピング、メッセージカード、すべてを1週間でやりきるエネルギーと団結力、そしてなにより被災地の人を思う暖かい心に胸をうたれました。



31日に第2弾を送るとがんばっています。

まだまだ寒い日が続きます。現地では雪と雨が復興を遅らせています。それでも被災者自からが困りごと聞き取りお互いを励まし合っていることを聞くにつけ、地震列島日本の備えが不足していることを実感します。ひまわりでも「もしも」に備えた準備を始めました。

運動教室のスタッフが 他の街デいの運動教室を見学

有方と小原が同じ街デいの「ここ茶ろん」の運動教室にお邪魔して参加させていただきました。

ヨガの先生が20年かけて高齢者の方向けに考案された体操は肩甲骨、腹筋で身体をほぐした後は、ヨガマットの上で運動。身体中を動かし、かなりハードなもので2人とも息があがってしまいました。参加者の方はしっかりついていかれているのにびっくりです。10年以上参加されている方にお聞きすると「ここで学んだことを自宅でも毎日やっている」とのこと。みなさんとにかくお元気でした。



ヨガマットで身体をほぐします

エアロビクス教室で流れているような音楽を流してリズムカルに身体を動かします。



歌を歌いながらフラの動きです

勉強になりました。ひまわりでも取り入れながらがんばっていきたいと思います。

小原弘子さまが永眠されました

小原さんは以前より入院されていましたが、1月5日にご逝去されました。

ひまわりが出来た頃から何かとひまわりに心を寄せてくださっていました。10周年のときには、弘子さんの故郷でしょうか、高知からたくさんのお寿司を取り寄せてくださって差し入れてくださるなど、さまざまなことが思い出されます。

身体がご不自由になられてからも、ひまわりで麻雀をしたいと、一生懸命努力されて来られていたのを思い出されます。

ひまわりのことを大切にされていたのでしょ。心よりご冥福をお祈りいたします。 合掌

